

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	声の広報発行事業			
予算科目	3 款 1 項 15 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	556
記入者情報	所属長:	中田 末明	担当責任者:	渡辺 悦子
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	文字による情報入手が困難な障害者			
根拠法令等	障害者総合支援法第77条・伊予市声の広報等発行事業実施要綱			
事業の目的	文字による情報入手が困難な障害者のために、点訳、音訳、その他障害者にわかりやすい方法により、地方公共団体等の広報、障害者が地域生活をする上で必要度の高い情報などを定期的に障害者に提供し、社会参加を図る。			
事業の内容	声の広報(全504巻:「月42巻×12ヶ月」)の製作			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	声の広報利用者拡大			
改善策の 具体的 取り組み	視覚障害者の日常生活の紹介や音読グループの活動紹介を通じて事業を広く主知させる。			

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	100	100	25	100
	人件費	479	162	81	162
	合計	0	262	106	262
人件費 内訳	人工数	0.06	0.02	0.01	0.02
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	479	162	81	162
財源内訳	国庫支出金	54	44	0	30
	県支出金	25	21	0	15
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	500	197	106	217

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
声の広報配布箇所数	箇所	18	18		18

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	100	100	100	100	0	400

成果指標				
成果指標	声の広報配布箇所数の増加			
指標設定の考え方	配布箇所を増やすことにより、聴覚障害者等が市政の状況に対する理解を深める機会を増やすことにつながるため。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	18	18	18	0
実績	18	18	18	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	音読グループが視覚障害者以外にも在宅の高齢者にも対象を拡げて、テープの配布を行い、障害者等の情報収集手段の支援となるように努力している。ただし、市内公共施設に設置(配布)しているテープの貸し出し利用については、再検討の余地がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	文字による情報入手が困難な障害者のためわかりやすい方法で必要と思える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題